

## 新小山市立博物館整備検討懇話会からの 主な意見と質疑応答について

### ■ 現博物館の跡地利用について

- ・新博物館が整備された後の現博物館の利活用について聞きたい。  
→（事務局）現博物館は老朽化が激しく、電気系統にも問題がある。場所によっては直射日光が差込み、収蔵・展示環境もよくない。
- ・現博物館は乙女不動原瓦窯跡のガイダンス機能も兼ねているが、活用はできないのか。  
→（事務局）現博物館の敷地は第一種低層住居専用地域であり、現博物館も特例的に建設している。用途地域に基づいた土地利用を前提として、利用方法を多方面から検討する。
- ・新博物館の分館として使用するのはいかがでしょうか。  
→（事務局）現在の施設は、水回りや浄化槽など補修を重ねている。費用対効果を考えると、使い続けることは難しいと考えている。

### ■ 乙女不動原瓦窯跡のガイダンス機能について

- ・毎年、市内小学校の6年生は博物館と不動原瓦窯跡の見学を行っている。移転により博物館と不動原瓦窯跡が離れてしまうため、今後も子どもたちが両者をスムーズに見学できるよう配慮を願いたい。  
→（事務局）新しい博物館は間々田のじゃがまいた伝承館と隣接して整備する予定のため、新しい見学メニューも含めて検討していきたい。

### ■ 博物館の収集方針について

- ・昨今、収蔵・収集の方針が必要だと言われる。新しく取り入れる自然分野も含め、基本構想の段階で方針について触れる必要があるのではないか。  
→（事務局）今年度基本構想を取りまとめ、次年度の基本計画の段階で明文化したいと考えている。

## ■ 新博物館の諸室構成について

- ・「多目的室」のようなものがない。市民が気楽に寄れる部屋があった方がいい。
- （事務局）諸室構成に多目的室を加える。
- ・友の会の方などが利用できるような部屋があるといい。
  - ・図書館的な機能も入れるといい。例えば視聴覚室に本棚を置いて、普段は図書室として利用してもらう方法もある。
  - ・資料を閲覧できる閲覧室や、レファレンス機能も持たせた方がいい。

## ■ 博物館を核とする市内施設の連携・回遊性の実現について

- ・現施設は“小山市の”博物館というより、“間々田の”博物館というイメージがある。小山全体に回遊性がいきわたるように、寺野東遺跡や摩利支天塚・琵琶塚古墳とネットワークでつなぎ、充実できると良い。
- ・博物館に行ったら市内を回遊できるような仕組みが必要だと思う。地域内外と言うが、地域外のことを考えて行くと地域内にも開けた施設になっていく。
- ・間々田駅から新博物館に行く途中には車屋美術館等もある。博物館に行くだけでなく、他の施設との（博物館がある地域内の）回遊性という視点も必要だと思う。
- ・新博物館がハブとなる「回遊性」のイメージを具体的に示す必要がある。

## ■ 展示テーマについて

- ・「川と大地とわたし」というテーマがいまいち分からなかった。川と大地が人を育ててきたという理解でいた。テーマについて再考して欲しい。
  - ・川と大地という表現は、地域のイメージが強い。田園のイメージを出したいのと思うが、地域の特性は出てこないと思う。小山の特徴がテーマからは分からない。
- （事務局）新しい展示では、来館者である“私”一人ひとりにつなげていく展示を目指していきたいと考えている。また、今回自然分野の展示を新たに加えるため、「川と大地」という大枠でテーマ設定を行っている。

## ■ 博物館内のカフェについて

- ・最近の博物館の例だが、カフェなどを利用する目的で来てもらってもいいと思う。
- ・カフェの導入は博物館の本来の機能からは外れてしまうが、人に来てもらう一つの方法としてはありだと思う。
- ・カフェのニーズについてはマーケティングが必要で、立地的に厳しいところもあると思うが、検討の余地がある。バスの時間調整としては、カフェがあるとよい。

## ■ 施設整備の在り方について

- ・施設整備において、ユニバーサルデザインの視点が重要。子どもから外国人まで使いやすい施設にしてほしい。
- ・直近では能登半島の地震もあったので施設の防災機能についても触れてもらいたい。

## ■ その他

- ・ミュージアムショップの検討はしているか。ミュージアムショップ目当てにわざわざ訪れる人もいるため、あった方が良くはないか。
  - ・小中学生まではくるけれども、高校生から大人になると博物館に来なくなる。その対策も必要だと思う。
  - ・どういう施設を市民が求めているのかというアンケート等、市民向けの調査も行うべきではないか。
  - ・新博物館では、情報のデジタル化を含めて、情報（資料）を横断的につなぐということを検討してほしい。
  - ・美術館の収蔵施設について、古美術品は博物館に収蔵すべきだと思う。
- （事務局）博物館の収蔵計画は来年度以降具体的に検討していくが、古美術であれば何でも収蔵するのではなく、小山市に関わる古美術品の収集を検討していくことになると思う。
- ・学芸員の人員増も検討してもらいたい。
  - ・従前の施設の活用などにより、収蔵庫を別々にするのは維持管理上大きな負担がかかる。人員の確保を含め早めに検討する必要がある。
- （事務局）現在博物館には自然系の学芸員がいない。なるべく早い段階で自然系の学芸員の採用を要望したい。